発行日　平成27年12月
発行人　大竹由美子　編集人　金子浩之

63

2015/12

発行所　東京司法書士政治連盟

東京司法書士政治連盟会報

青い空

〒160-0003　東京都新宿区本塩町9-3
☎(03)3353－9146　　http://tokyo-seiren.jp

題字　大竹由美子

巻頭言

会長就任にあたって

――職能広報・職域拡大・地域貢献――

東京司法書士政治連盟会長　大竹　由美子 2

大会報告

第46回定時大会

――協働・開拓・発展――

東京司法書士政治連盟副会長　立川　健豊 5

日司連「全国空き家問題110番」 3
東京都議会への平成28年度予算要望 11
司法書士制度推進議員連盟総会 13
ほか

活動日誌 12

Voice
乗り越えるべき課題
東京司法書士政治連盟
名誉会長　星野　高久 17

◆幹事長はこう動いた！ 第25回
東京司法書士政治連盟
幹事長　羽生　明彦 15

巻頭言

会長就任にあたって

――職能広報・職域拡大・地域貢献――

東京司法書士政治連盟
会　長　大　竹　由美子

1　はじめに

初冬の候、皆様にはご活躍のこととお慶び申し上げます。

平素から政治連盟の活動に対しまして、ご理解とご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

私は第46回定時大会（平成27年７月24日）において、東京司法書士政治連盟（以下、「当政治連盟」という）の新会長に選任されました。大野寿之前会長の方針を継承するとともに、さらなる司法書士制度の発展、特に空き家問題対策に司法書士職能を発揮できるよう、全力を尽くしていきたいと決意しております。これからもより一層のご支援をいただけるよう政治連盟の活動に努めてまいりますので、何卒、ご指導ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

2　政治連盟の原点と活動

政治連盟は司法書士制度廃止論を契機に誕生し、司法書士制度の維持発展のための政治活動を行うことを目的とした政治団体であり、尽力し続けた先輩方から脈々と有形無形の財産を受け継ぎ、今に至っています。

この原点に立ち返って、これからの政治連盟の活動を考えてみたいと思います。

昭和39年８月15日、第一次臨時行政調査会答申案の中間発表の中に「司法書士制度は廃止の方向で検討する」旨の記載があると報道され、さらに同年12月15日、法務省民事局長から「登記の補正を命ずる場合とその方法について」と題する、いわゆる補正通達が発せられ、司法書士界全体に衝撃をもたらしました。この真意はいったいどのようなことだったのでしょうか。

まず、大阪では政治連盟が昭和40年５月10日に結成され、昭和42年７月13日に開催された日本司法書士会連合会（以下、「日司連」という）の第22回定時総会において、司法書士政治連盟全国組織結成の早期実現を要望する決議が「満場一致」で可決され、日本司法書士政治連盟が昭和44年７月13日に誕生し、続いて昭和46年５月29日に日本司法書士政治連盟東京会（現在の当政治連盟）が誕生しました。

政治連盟は司法書士制度の維持発展のため、顧問議員・友好議員・地方議員に積極的に働きかけ、司法書士制度に関する法改正や実務現場からの要望を実現できるように努めています。現在、司法書士制度にご理解ある国会議員に顧問に就任いただき、また司法書士制度推進議員連盟に当政治連盟からも多く推薦させていただき、機会を活かして意見交換をしています。

平成26年２月から平成27年４月にかけて、東京都知事選挙・新宿区長選挙・衆議院議員総選挙・統一地方選挙等があり、選挙となれば、制度にご尽力いただける候補者を党派を問わず推薦し応援

することで要望実現に結びつけられるよう、議員に司法書士制度広報をしています。中川雅治顧問・小池百合子顧問・竹谷とし子顧問・丸川珠代顧問（環境大臣就任のため、顧問は辞任）・山田美樹衆議院議員（外務大臣政務官）・小倉將信顧問・小川敏夫参議院議員・松原仁顧問らと、空き家問題対策・成年後見制度利用促進法案等の情報収集・発信をすることができ、選挙は組織的な信頼関係を醸成するよい機会となっていることを実感しました。

③　政治連盟の課題

政治連盟は司法書士界のため、司法書士制度を議員に広報するために存在するのですが、他士業の政治連盟に比較しても組織力の強化（会費納入率の向上）が課題です。日々の活動で感じる他士業の政治連盟の力強さ、どのようにすればこの現状を政治連盟に関心のない会員も含めて、司法書士一人ひとりに自分の問題としてとらえてもらえるのか、これからの政治連盟のあり方を政治連盟役員と共に検証していきたいと思います。

市民の代表である議員に広報することが市民に広報することであり、当政治連盟は東京司法書士会（以下、「東京会」という）との役割分担関係や会員の皆様方のご理解をいただくため、目標の明確なよりわかりやすい政治連盟をめざして、会報「青い空」（以下、「本誌」という）や当政治連盟ホームページ〈http://tokyo-seiren.jp/〉を充実させ、活動の「見える化」を図っていきたいと思います。組織力の強化にご協力いただくことなくして、じわりと浸食してくる業際問題に対抗することはできません。

④　空き家問題への対応を通じた職能広報・職域拡大・地域貢献

政治連盟の運動方針として掲げているとおり、司法書士業務全般に関する法律相談権の確立や懲戒制度における適正な手続保障のための除斥期間の設置、戒告への異議申立権等の司法書士法改正など、継続課題が山積しています。

当政治連盟は、その中でも、最近深刻な社会問題となっている空き家問題への対応を重要課題とします。

マスコミでも報道されていますが、少子高齢化等により住宅数が世帯数を上回っており、８件に１件が空き家となっています。平成25年に総務省が実施した住宅・土地統計調査の速報値（平成26年７月29日公表）によると、平成25年10月１日時点の空き家の数は820万戸、全国の総住宅数に占める割合は13.5％となっており、「賃貸用又は売却用の住宅」および「２次的住宅」を除いた「その他の住宅」に属する空き家の数は318万戸に上り、その数は過去20年間で約２倍に増加しています。そこで、「適切な管理が行われていない空家等が防災、衛生、景観等の地域住民の生活環境に深刻な影響を及ぼしていることに鑑み、地域住民

日司連「全国空き家問題110番」

平成27年８月23日㈰、電話相談会「全国空き家問題110番」が日司連ホールで開催された。この相談会は、「空家等対策の推進に関する特別措置法」が、同年５月26日より全面施行されたのを受けて、全国に先がけて日本司法書士会連合会（以下、「日司連」という）が行ったものである。

当日は、相談会開始直後にNHKの取材が入り、その様子は午後のテレビ・ラジオで報じられた。全国各地からの相談件数は377件であった。この問題の関心の高さを感じさせる相談会となった。空き家問題は、全国各地の問題である。それに対する司法書士の今後の取組みが期待される。

東京司法書士政治連盟は、この問題に対して日司連、日本司法書士政治連盟、東京司法書士会、その他の関連団体と協力して活動していく。　（東京司法書士政治連盟副会長　立川健豊）

の生命、身体又は財産を保護するとともに、……空家等の活用を促進するため、空家等に関する施策に関し、国による基本指針の策定、市町村……による空家等対策計画の作成その他の空家等に関する施策を……総合的かつ計画的に推進」するため、平成26年11月27日に、いわゆる空家等対策特別措置法（以下、「法」ともいう）が公布されました。

当政治連盟では、法の制定以前から、空き家問題に対して司法書士職能がどのように機能できるかについて、関係方面と協議してきました。平成26年４月、自治体の空き家条例について、区議会議員を招いてその背景やどのような職能がかかわっていくべきか等の勉強会を開催し、本誌60号にて広報しました。その後、同年５月に先進会の神奈川県司法書士会（以下、「神奈川県会」という）の空き家問題対策委員会に参加し、同年10月には清家亮三東京会会長らと中山弘子新宿区長（当時）を訪問し、司法書士職能が空き家問題に具体的にどのように機能するかを広報しました。また、小倉將信自民党衆議院議員との町田支部勉強会をきっかけに本誌が媒体となって、同年11月には国土交通省住宅局住宅政策課と意見交換の機会に恵まれました（詳細は、神奈川県会の上杉直之氏が月報司法書士523号38頁以下で紹介されています）。この意見交換は、基本指針において市町村協議会（法７条協議会）の構成員に「司法書士」が列挙される貴重なチャンスにつながったようです。さらに、東京都では５月に全区市町村を招集して、法の流れや、現況調査や相談体制等実施体制に対する国の指針、その補助についての説明があり、秋田一郎都議会議員の政策セミナーにて質問したところ、東京都都市整備局の担当者からご連絡いただき、意見交換もしています。

日司連では、「空家問題　司法書士がお役に立ちます」と謳ったチラシを全自治体約1800に配布し、平成27年８月23日に電話相談会「全国空き家問題110番」を開催しました。当政治連盟は、役員会において、いわゆる空家等対策特別措置法、基本指針、特定空家等認定ガイドラインを報道関係者向けに簡略にまとめた日司連のプレスセミナーDVD研修を行ったところ、電話相談会の相談員として多くの役員が参加し、さっそく活躍してくれました。「空き家問題は司法書士に」を強く発信しています。

東京会では、清家会長の「ベクトルを一つに」の合い言葉のもと、全理事・支部長、関連諸団体役員等および遂行担当者約80名でメーリングリストを立ち上げて、各区市町村に対しアンケートと要望書発信の情報共有をしています。要望内容は、①所有者調査、②相談窓口の設置、③法７条協議会の設置と司法書士の活用、④司法書士会との連携ですが、これは司法書士の職能の自治体に対する広報であり、成年後見人就任、不在者財産管理人の申立ておよび就任などを通して職域拡大の可能性があり、空き家問題対策として街づくりを担い地域貢献ができるのではないでしょうか。当政治連盟としては、さらなる政策要望として、空き家問題対策の一環として、相続登記推進のために遺言による相続における相続税の基礎控除や、中間処理施設用地取得の迅速処理のために公用代理請求を認めていただく等、活発な議論を展開していきたいと考えています。

⑤　おわりに

自治体や議会に要望事項を説明することは、司法書士の職能をご理解いただくチャンスでもあります。当政治連盟としては、東京会をはじめ、関連諸団体と緊密な連携をとりながら、また他士業連携も模索し成果を出すことを第一義としつつ、広報することそれ自体の意義や、一体感を保って行動する信頼感を大切にしたいと思います。

政治連盟が期待されるよう、政治連盟の広報が期待されるよう、そしてその期待に応えられるよう、一体となって行動していきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

大会報告

第46回定時大会

――協働・開拓・発展――

平成27年７月24日　於・日司連ホール

東京司法書士政治連盟副会長　立　川　健　豊

平成27年７月24日㈮、午後５時から日司連ホールで東京司法書士政治連盟（以下、「当政治連盟」という）の第46回定時大会が開催された。

■開　会

長田茂副幹事長の司会で始まり、物故会員に対する黙祷の後、菅澤明副会長の開会の辞、大野寿之会長より各来賓の大会参加への御礼、この１年を振り返っての当政治連盟の活動の成果が報告され大会は進行した。

■来賓挨拶

本定時大会に出席された多数の来賓、国会議員、都議会議員より祝辞を頂戴した。

国会議員挨拶（挨拶された順）

民主党	衆議院議員	長島　昭久様
自民党	衆議院議員	小池百合子様
自民党	衆議院議員	井上　信治様
自民党	参議院議員	中川　雅治様
自民党	参議院議員	小川　敏夫様
公明党	参議院議員	魚住裕一郎様
公明党	参議院議員	竹谷とし子様

来賓挨拶（挨拶された順）

東京司法書士会会長	清家　亮三様
日本司法書士会連合会会長	三河尻和夫様
日本司法書士政治連盟会長	田嶋　規由様

都議会議員挨拶

日本共産党都議会議員団副幹事長　植木こうじ様

その後、司会者から、出席された国会議員秘書の氏名、関連士業団体の来賓の役職・氏名、東京司法書士会関連団体の来賓の役職・氏名、各単位政治連盟の来賓の役職・氏名、当政治連盟名誉会長、相談役、参与の紹介があった。最後に、山田美樹自民党衆議院議員からの祝辞を大竹由美子副会長が朗読し紹介した。

午後５時40分、来賓が退席し、20分休憩のあと、午後６時から山本健詞幹事長の平成26年度の経過報告へと移っていった。

■平成26年度経過報告

第47回衆議院議員総選挙、都議会および都連に対する政策・予算要望など、平成26年度の活動経過について報告がなされた。

ご来賓の方々

清家　亮三
東京司法書士会会長

三河尻和夫
日本司法書士会連合会
会長

田嶋　規由
日本司法書士政治連盟
会長

（以下、挨拶された順）

長島　昭久
衆議院議員

小池百合子
衆議院議員

井上　信治
衆議院議員

中川　雅治
参議院議員

小川　敏夫
参議院議員

魚住裕一郎
参議院議員

竹谷とし子
参議院議員

■議長選出

司会者より、議案審議につき議長選出方法を議場に諮ったところ、議場より「司会者一任」の声があり、司会者において品川支部の山﨑敏夫会員を指名し、議場に承認を求めたところ、拍手をもって承認された。

議長は就任挨拶に続き、副議長を選任したい旨を述べ、練馬支部の相馬恵会員を副議長に選任した。会期・会議時間決定後、議事録署名人として北・荒川支部の原田圭介会員、港支部の遠海陽子会員が指名され承認された後、議題の審議に入った。

議長は、本総会の出席者は66名で規約に定足数の別段の定めがないので、本大会は適法に成立した旨を宣言した。

◆第１号議案◆平成26年度決算及び監査報告承認の件

髙田恭秀副会長より、平成26年度の決算報告書・財産目録（平成26年５月１日～平成27年４月30日）に関し報告があった。

〔収入の部〕 会費収入は、ここ２～３年横ばいである旨の報告があった。あわせて、年々会員数は増えてきているのに納められる会費額は変わらないので納入率は下がっていく旨の報告があった。ただ、事業収入が前年度（平成25年度）に比べ30万円以上増えていて予算額を上回っている。これは、広報委員会が中心になり役員総務の協力のもと開催した税務・会社法改正等の研修事業での収入増加による旨の報告があった。

〔支出の部〕 日本司法書士政治連盟（以下、「日司政連」という）の会費について、滞っている厳しい現状が続いている旨の報告があった。

この後、尾畑浩監事より６月２日に会計監査を実施し、帳簿、領収証等を調査した結果、いずれも正確かつ適正に処理されていた旨の報告がなされた。

ここで、議長は第１号議案につき採決を議場に諮ったところ、質問もなく満場一致で承認された。

◆第２号議案◆平成27年度運動方針、組織・事業活動方針決定の件

◆第３号議案◆平成27年度予算承認の件

議長より、第２号議案および第３号議案については一括審議したい旨の説明があり、議場に諮ったところ異議なく了承された。

山本幹事長から平成27年度運動方針案および組織・事業活動方針案並びに髙田副会長より平成27年度の予算案（平成27年５月１日～平成28年４月30日）が上程された。

財務担当の髙田副会長は、司法書士法改正など、日司政連の役割は今後ますます高まる。これを支えるのは単位政治連盟であり、特に当政治連盟の負う役割は大である。今年は、何としても納入率の向上をめざし、日司政連の財政的基盤を支えたい旨の考えを述べた。

ここで議長は、議案の質疑応答に入った。

〔質問〕――――――――――若木会員（千代田支部）

平成27年度運動方針案および組織・事業活動方針案について、今回は当政治連盟の第46回定時大会であり、第50回定時大会も間近であるが、執行部は50周年事業について何か考えがあるか。

〔回答〕――――――――――――――――大野会長

役員会で毎回協議事項には入れている。早々に委員会を立ち上げ、50周年事業活動について取り組んでいきたい。

〔質問〕――――――――――松本会員（豊島支部）

司法書士の法律相談は、法テラス・各自治体の相談会では140万円の範囲内に限定され運用されている。これは、司法書士法を改正しなくてはな

らない問題なのか。それとも、運用改善を働きかければよい問題なのか。その点についての当政治連盟の考えを聞かせてほしい。

〔回答〕――――――――――――――――――大野会長

司法書士の法律相談について、法テラス・各自治体への運用改善については、特に活動していない。今後、次期執行部で、東京司法書士会との協議会において議論して、問題解決にあたっていただきたい。

〔質問〕――――――――――――――――――若木会員

平成27年度の予算書（案）の会費収入の摘要欄に１万2000円×3782名と記載してあるが、この会員数は、当政治連盟の会員と考えてよいのか。

〔回答〕――――――――――――――――――山本幹事長

これは、東京司法書士会本会の会員数である。

〔質問〕――――――――――――――――――若木会員

東京司法書士政治連盟規約（以下、「規約」という）５条（会員）では「本連盟の会員は、東京司法書士会の個人会員のうち、本連盟の目的および事業に賛同して入会の申し込みをした者」であると規定されている。当政治連盟の会員数は、今現在何名なのか。

〔回答〕――――――――――――――――――山本幹事長

当政治連盟の現状の会員は数字が出ていない。東京司法書士会の会員が、当政治連盟の会員になる資格があり、その中で当政治連盟の目的・事業に賛同されていれば会費を支払っていただく。会費納入の有無は会員かどうかとは関係ない。

〔質問〕――――――――――――――――――若木会員

規約６条（会員名簿）にある「会員」は、東京司法書士会会員ではなく当政治連盟会員を意味していると考えるがどうか。

〔回答〕――――――――――――――――――山本幹事長

予算書（案）の摘要に記載された会員数は、予算を組む関係で東京司法書士会会員の数を載せている。

〔質問〕――――――――――――――――――若木会員

予算書（案）の会員数の質問ではない。規約６条の当政治連盟の会員数を聞いている。

〔回答〕――――――――――――――――――立川副会長

規約５条でいう本連盟、６条でいう本連盟も、１条（名称）の「本連盟は、東京司法書士政治連盟と称する」を前提としており、本連盟とは東京司法書士政治連盟のことをいっている。

〔質問〕――――――――――――――――――若木会員

規約６条の会員名簿は作成してあるのか。

〔回答〕――――――――――――――――――立川副会長

毎年事務局で東京司法書士会会員名簿を基に、所属支部、会員番号、氏名を記載した「（○）会費納入者」、「（×）会費未納者」のリストをつくっていただいている。これを、会費未納者への会費徴収督促の際への参考資料としている。

私は、当政治連盟会員名簿は、この「（○）会費納入者リスト」を名簿と考えているがどうか。

〔質問〕――――――――――――――――――若木会員

もう一度聞きます。規約６条の当政治連盟会員名簿は作成してあるのですか。

〔回答〕――――――――――――――――――立川副会長

作成してあります（規約６条で規定されている会費納入者の事務所所在地を今後補充する）。

〔質問〕――――――――――――――――――若木会員

規約８条２項の会費未納者に対する督促通知は、年に何回出しているのか。何人くらいになるのか。何年にもわたって出しているのか。

〔回答〕――――――――――――――――――山本幹事長

年に４回ほど出している。2600名ほどには出している。５～６年にわたって出している。

〔質問〕――――――――――――――――――若木会員

規約８条２項の会費未納者に対するみなし退会規定を実施したことがあるのか。

〔回答〕――――――――――――――――――山本幹事長
この規定を実際に実施したことはない。
〔要望〕――――――――――――――――――若木会員
50周年大会までに、当政治連盟の会費納入率をもっと上げるよう運動してほしい。
〔要望〕――――――――――安井会員（目黒支部）
東京司法書士会の入会式で当政治連盟の説明をするとき、会場で当政治連盟の趣旨に賛同してくれる新人会員に（東京司法書士会の同意を得て）当政治連盟の入会申込書をもらったほうがよい。このような会員は、会費を支払い続けてくれると思う。
〔回答〕――――――――――――――――――山本幹事長
貴重なご意見ありがとうございます。次期執行部で検討していきたい。

ここで、議長は第2号議案および第3号議案につき採決を議場に諮ったところ、満場一致にて各議案は承認された。

●平成27年度運動方針●

1　司法書士業務全般に関する法律相談権の確立
2　司法書士自治に基づく懲戒制度の確立
3　成年後見制度の充実
4　「空家等対策」への新たな取組み
5　住民票除票・消除された戸籍の附票の保存期間を伸長し、市民からの謄本交付請求に応じること
6　簡裁代理権の拡充
7　利用しやすい不動産登記手続の実現
8　東日本大震災・福島第一原子力発電所事故への対応
9　首都直下型地震に対する防災対策
10　公嘱協会への協力・支援
11　リーガルサポートへの協力・支援
12　法教育の推進
13　自殺対策への対応
14　東京地方裁判所民事第20部問題への対応
15　経済連携への対応
16　会社法等企業関連法への対応
17　「登録免許税制」から「登記手数料制」への抜本的見直しに向けて

●組織・事業活動方針●

1　顧問議員、友好議員との連携、交流と情報収集の強化
2　司法書士他団体との協力関係の強化
3　広報・情報収集活動の強化
4　法規の検討、立案
5　財政基盤の強化
6　支部活動・地区活動の強化

◆第４号議案◆役員選任の件

大川保夫選挙管理委員長から、役員立候補者、当選者の氏名が告げられた。

新会長に大竹由美子会員（新宿支部）が当選し、幹事長に羽生明彦会員（立川支部）が指名され選任された。監事についても、2名の当選が確定した。なお、副会長8名、副幹事長9名については、立候補者の当選が確定し、副会長2名、副幹事長1名については、大竹新会長から指名された。新役員を代表して、大竹新会長から所信表明があった。役員選任についても、満場一致にて承認可決された。

●東京司法書士政治連盟新役員●

会　長	大竹　由美子	（新　宿）
副会長	山本　健詞	（中　央）
〃	菅澤　明	（大　田）
〃	髙田　恭秀	（　港　）
〃	鎌田　克一	（中　野）
〃	徳本　和宣	（墨田・江東）
〃	長田　茂	（杉　並）
〃	石坂　美穂	（豊　島）
〃	粕谷　浩	（八王子）

〃	髙木　宏	（新　宿）
〃	立川　健豊	（府　中）
幹事長	羽生　明彦	（立　川）
副幹事長	金子　浩之	（北・荒川）
〃	市川　英明	（町　田）
〃	秋元　貴行	（北・荒川）
〃	小山　倫子	（千代田）
〃	今村　秀一郎	（大　田）
〃	渡邊　利明	（江戸川）
〃	奥村　達也	（新　宿）
〃	竹内　恒太	（武蔵野）
〃	旦保　みどり	（新　宿）
〃	辻　真美子	（新　宿）
監　事	亀田　二郎	（福　生）
〃	尾畑　浩	（町　田）

◆第５号議案◆総務選任の件

山本幹事長から、総務候補者の支部・氏名が紹介された。総務選任についても、満場一致にて承認可決された。

◆第６号議案◆名誉会長選任の件

山本幹事長から、当政治連盟規約25条１項に基づき、名誉会長選任の提案があった。名誉会長選任についても、満場一致にて承認可決された。

●東京司法書士政治連盟名誉会長●

名誉会長	樋口　庫造	（調　布）
〃	三上　繼譽	（目　黒）
〃	星野　高久	（杉　並）
〃	小松　五三夫	（城　北）
〃	安井　利国	（目　黒）
〃	大野　寿之	（北・荒川）

◆第７号議案◆大会宣言採択の件

金子浩之副幹事長が、高らかに大会宣言案を読み上げた。大会宣言についても、満場一致にて承認可決された。

●大　会　宣　言●

日本は今年、戦後70年という節目の年を迎える。70年前の３月、東京大空襲によって首都東京は壊滅、８月には広島、長崎と相次いで原子爆弾が投下され、終戦を迎えた。その後日本は新しい憲法のもと、真の民主化の道を歩み始め、戦後の復興から高度経済成長期を経て、経済大国へと発展し、政治的にも世界の一役を担うまでに成長してきた。

戦後の復興において司法書士は、不動産登記、商業登記をはじめ、裁判事務等の分野で、その力を存分に発揮し、日本の発展に少なからず寄与してきた。ここ十数年にあっては、司法制度改革の中で簡裁代理権の獲得、成年後見業務においての国民からの信頼を得るに至ったが、これらは、140年以上続く司法書士制度の中で、先人の司法書士が地道に確実な仕事を積み重ねてきた賜物でもあり、今日の業務拡大につながってきた。司法書士が国民にとって身近な存在として今日に至っているものの、国民の利便性という点からみると、まだまだ十分とはいえない。国民の便を向上させる方策は何か。その１つとして、司法書士業務全般に対する法律相談権の確立をはじめとした司法書士法改正が挙げられよう。

司法書士法は司法書士にとっていわば憲法というべき存在である。そこには司法書士が司法書士として仕事をするためのごく当たり前の権利が保証され、名実ともに明らかにされなくてはならない。そのことは、結果として国民の権利擁護につながるものであるとともに、司法書士としてなお一層の責務をこれまで以上に負うことでもある。

最近では、さまざまな財産管理業務や企業法務、法教育、空家等対策など新たな分野において、司法書士が必要とされ、求められている。空家等対策の分野を例にとれば、国の

指針において、区市町村が組織する協議会の構成員として司法書士が例示されている。司法書士がもつ能力、経験がそこに必要とされているのである。

昨年、司法書士制度推進議員連盟の総会が開催された。それだけ司法書士に対する期待は高い。国民からの期待も同じである。しかし、その期待に応え、司法書士自身が動かなければ、期待はやがて失望に変わっていく。いまこそ司法書士１人ひとりが、司法書士のあり方、司法書士制度の将来を本気で考え、新たな道を切り拓いていこうではないか。

東京司法書士政治連盟は、司法書士がこれからも国民の権利を擁護する存在としてあり続け、司法書士自身が安心してその職責を遂行できる環境を維持、創出すべく邁進していくことをここに宣言する。

平成27年７月24日

東京司法書士政治連盟　第46回定時大会

■閉　会

これで、全部の議案の審議が終了した（全議案満場一致にて承認された）。その後、６年間当政治連盟の会長を務めた大野会長に、大竹新会長から花束の贈呈があった。午後７時58分、羽生明彦副会長から閉会の辞があり、本定時大会はすべての日程を終えた。午後８時、三上繼譽名誉会長の音頭のもと万歳三唱が行われた。

東京都議会への平成28年度予算要望

平成27年９月８日㈫および９日㈬の２日間、東京都議会へ平成28年度予算要望をした（当政治連盟ホームページ「平成28年度都議会予算要望」参照）。要望先は、日本共産党東京都議会議員団、東京都議会公明党、東京都議会民主党である。

当日は、東京司法書士政治連盟（以下、「当政治連盟」という）からは大竹由美子会長のほか、羽生明彦幹事長、髙田恭秀副会長、金子浩之副幹事長が出席した。大野寿之東京司法書士会副会長（当政治連盟名誉会長）も参加した。関連団体からは、岡野直史公益社団法人東京公共嘱託登記司法書士協会理事長、井藤智子公益社団法人成年後見センター・リーガルサポート東京支部支部長、三浦直美東京青年司法書士協議会会長が参加した。

両日とも大雨で交通が麻痺するほど天候状態が悪かったにもかかわらず、各団体とも都議会議事堂に集まり要望事項を議員に熱く伝えていた。　（東京司法書士政治連盟副会長　立川健豊）

平成27年東京司法書士政治連盟活動日誌

平成27年

5月1日㈮ 東京会との協議会、神奈川県会空き家問題対策委員会、田無支部定時総会
5月7日㈭ 第1回役員会
5月11日㈪ 区長と話そう（しんじゅくトーク）
5月12日㈫ 清和政策研究会との懇親会、三多摩支部総会
5月13日㈬ 公嘱協会新宿支部総会、東京会入会式、第1回政策・法規委員会
5月20日㈬ 日司連プレスセミナー
5月22日㈮ 公嘱協会府中地区総会、支部長会
5月23日㈯ 静岡県司法書士政治連盟定時大会
5月25日㈪ 府中市議会市政会議員訪問、千代田地区公嘱協会定時社員総会
5月26日㈫ 秋田一郎自民党都議会議員政策勉強会
5月27日㈬ 小倉將信自民党衆議院議員・山田美樹自民党衆議院議員訪問
5月28日㈭ 第1回広報委員会
5月29日㈮ 杉並地区公嘱協会定時社員総会、第2回政策・法規委員会
5月30日㈯ 役員会打合せ
5月31日㈰ 新宿区議空き家対策打合せ
6月2日㈫ 第2回役員会、監査会
6月3日㈬ 公嘱協会田無地区総会
6月4日㈭ 吉住健一新宿区長会準備会―空き家対策打合せ
6月8日㈪ 役員会打合せ
6月11日㈭ 柴山昌彦自民党衆議院議員政策勉強会
6月12日㈮ 公嘱協会定時総会
6月15日㈪ 第1回総務会、東京会入会式
6月16日㈫ 小倉將信自民党衆議院議員・山田美樹自民党衆議院議員訪問―空き家対策取組み説明
6月17日㈬ 小池百合子顧問昼食政策勉強会
6月18日㈭ 荒川区自民党政策懇談会―空き家対策
6月24日㈬ 政治連盟室整理、空き家対策打合せ
6月27日㈯ 全法務東京大会
6月29日㈪ 東京都都市整備局住宅政策推進部計画調整課長訪問、秋田一郎自民党都議会議員御礼訪問、高木陽介公明党衆議院議員政経フォーラム
7月2日㈭ 山田美樹自民党衆議院議員国政報告会
7月4日㈯ 小倉將信自民党衆議院議員後援会連絡会議
7月7日㈫ 第3回役員会
7月11日㈯ 日司政連関東ブロック幹部会
7月14日㈫ 荒川区公明党区政懇談会―空き家対策、東京会入会式
7月15日㈬ 吉住健一新宿区長後援会発起人会
7月16日㈭ 第1回選挙管理委員会
7月23日㈭ 小磯善彦公明党都議会議員都政報告会
7月24日㈮ 第46回定時大会、第2回選挙管理委員会
7月26日㈰ 菅直人民主党衆議院議員安保法案を考える市民の会
7月29日㈬ 役員引継打合せ、協同組合理事会へ就任挨拶、政治連盟目標・年間スケジュール案打合せ
7月30日㈭ 日司連空き家対策本部、東京会理事会へ就任挨拶
8月7日㈮ 成年後見制度利用促進法案成立への陳情―小川敏夫民主党参議院議員、今井雅人維新の党衆議院議員
8月8日㈯ 加瀬皓三前千葉司法書士政治連盟会長の旭日小綬章受賞記念祝賀会
8月10日㈪ 協同組合第26回総代会
8月11日㈫ 新宿区議会自民党幹事長空き家対策議会一般質問のためのレクチャー
8月17日㈪ 杉並区議会自民党へ空き家対策予算要望
8月18日㈫ 杉並区議会民主党へ空き家対策予算要望、公嘱協会に就任挨拶、役員会打合せ
8月19日㈬ 国会事務所挨拶廻り
8月20日㈭ 民主党法務・内閣合同部会
8月21日㈮ 新宿未来の会と空き家対策打合せ
8月22日㈯ 秋田一郎都議会議員・樋山真一区議会議員と空き家対策打合せ
8月23日㈰ 日司連「全国空き家問題110番」
8月24日㈪ 小倉將信自民党衆議院議員町田支部司法書士後援会
8月26日㈬ 日司連「全国空き家問題110番」の分析・アンケート集計、東京公友会
8月27日㈭ 成年後見制度利用促進法案陳情―三河尻和夫日司連会長ほかに同行
8月30日㈰ 日司政連第2次財政再建特別委員会
8月31日㈪ 北区自民党へ空き家対策予算要望
9月1日㈫ 第5回役員会
9月2日㈬ 中野区自民党へ空き家対策予算要望
9月3日㈭ 法務・内閣部門会議
9月4日㈮ 新宿区民主党へ空き家対策予算要望
9月8日㈫ 司法書士制度推進議員連盟総会、都議会共産党・都議会公明党へ予算要望、小池百合子自民党衆議院議員「無電柱革命」出版記念会
9月9日㈬ 都議会民主党へ予算要望、東京会・公嘱協会・LS役員との空き家対策の打合せ
9月10日㈭ 第2回総務会
9月11日㈮ 東京税理士政治連盟定期大会
9月12日㈯ 東日本大震災復興支援旅行参加（13日㈰まで）
9月17日㈭ 宮路拓馬自民党衆議院議員朝食勉強会、丸川珠代自民党参議院議員パーティー
9月24日㈭ 土地家屋調査士政治連盟会長・幹事長との意見交換
9月25日㈮ 支部長会会長就任挨拶傍聴
9月29日㈫ 平沢勝栄自民党衆議院議員パーティー
10月1日㈭ 佐藤一夫国立市長へ空き家対策要望―

近藤誠国立支部長に同行
10月 2 日㈮　７団体協議会
10月 5 日㈪　自民党都連へ予算要望
10月 6 日㈫　第６回役員会
10月 8 日㈭　東京都都市整備局と空き家対策打合せ―清家亮三東京会会長に同行
10月 9 日㈮　北区公明党へ空き家対策予算要望
10月14日㈫　第１回広報委員会
10月15日㈭　中川雅治自民党参議院議員パーティー
10月19日㈪　文京区自民党へ空き家対策予算要望、大塚拓自民党衆議院議員パーティー
10月23日㈮　江東区へ空き家対策要望説明、日司政連常任幹部会
10月26日㈪　小倉將信自民党衆議院議員パーティー
10月28日㈬　調布市議会へ空き家対策陳情
10月29日㈭　第１回財務委員会
10月30日㈮　豊島区都市計画部との空き家対策意見交換
11月 1 日㈰　中村邦夫先生を偲ぶ会
11月 5 日㈭　第２回広報委員会

司法書士制度推進議員連盟総会

平成27年９月８日㈫、司法書士制度推進議員連盟（以下、「議連」という）の総会が、ANAインターコンチネンタルホテルで開催された。東京司法書士政治連盟（以下、「当政治連盟」という）からは、大竹由美子会長、羽生明彦幹事長、山本健詞副会長、髙田恭秀副会長、秋元貴行副幹事長、小山倫子副幹事長、竹内恒太副幹事長が出席した。

午後０時、河井克行議連事務局長の司会進行で始まり、河村建夫議連会長から挨拶があった。その後、司法書士会側から、三河尻和夫日本司法書士会連合会（以下、「日司連」という）会長の挨拶、芝将宏日本司法書士政治連盟（以下、「日司政連」という）会長代行の挨拶があった。次に、来賓として奥克彦衆議院法制局法制企画調整部副部長、金子修法務省大臣官房審議官（民事局担当）、苧谷秀信厚生労働省大臣官房審議官（老健、障害保健福祉担当）の紹介があり、議事に移った。

●議員連盟加入者の承認　議連は、昨年（平成26年）の４月11日㈮以降開かれていなかったので、昨年末の衆議院議員総選挙で当選された議員も含め、新しく議連に加入する議員41名（当政治連盟ホームページ「議連メンバー」参照）の承認が求められ、異議なく承認された。

●成年後見制度の利用促進　次に、「成年後見の事務の円滑化を図るための民法及び家事事件手続法の一部を改正する法律案」および「成年後見の利用の促進に関する法律案」が上程され、審議された。まず、最初に鯨井康夫日司連副会長から２法案についてこれまでの経緯、要望文の説明があった（当政治連盟ホームページ「日司連日司政連要望議員立法」参照）。また、国会議員の側からは田村憲久自民党政務調査会長代理から２法案に対する上程の経緯について説明があった。

続いて、「成年後見の事務の円滑化を図るための民法及び家事事件手続法の一部を改正する法律案」について、盛山正仁自民党法務部会長から、「成年後見の利用の促進に関する法律案」について、大口善徳公明党国会対策委員長から説明があった。平成27年９月４日㈮に成立した「内閣の重要政策に関する総合調整等に関する機能の強化のための国家行政組織法等の一部を改正する法律案」（当政治連盟ホームページ「内閣官房・内閣府の業務スリム化法案」参照）が、来年（平成28年）４月１日に施行される予定なので、その前にこの法案を成立させたい旨の発言があった。

その後、質疑応答に移り、階猛民主党衆議院議員から「成年後見の事務の円滑化を図るための民法及び家事事件手続法の一部を改正する法律案」の中の成年被後見人の死亡後の成年後見人の権限について質問があり、盛山自民党法務部会長が回答された。

●おわりに

午後０時50分、上程された成年後見２法案に対する質疑が終わり、本日の総会のすべての議題が終了した。最後に、漆原良夫議連会長代理から閉会の辞が述べられた。その際に、一刻も早い法案の成立に努力する旨、司法書士の制約なき法律相談権についても実現できるよう引き続き運動していく旨の力強い言葉をいただいた。午後１時に閉会した。　（東京司法書士政治連盟副会長　立川健豊）

公明党荒川区議会区政懇談会

平成27年７月14日㈫、公明党荒川区議会区政懇談会が、荒川区役所５階大会議室にて行われた。

東京司法書士政治連盟（以下、「当政治連盟」という）から、大野寿之会長（当時）、大竹由美子副会長（当時）、秋元貴行副幹事長が、近藤徹北・荒川支部長とともに、公明党荒川区議会を訪問した。

区議会公明党から保坂正仁荒川区議会副議長、中村ひさお区議会議員、吉田えいこ区議会議員、きくち秀信区議会議員、森本たつお区議会議員、松田智子区議会議員、都議会公明党から鈴木貫太郎都議会議員が参加した。

荒川区は木密地域を多く抱え、木密地域解消のためにも空き家問題対策に対する関心は高い。そんな中、区議会公明党からは、「特定空家等」の問題について司法書士のかかわりを期待する声があがった。また、北・荒川支部、当政治連盟からは、所有者調査、空き家相談窓口での相談員、区市町村協議会の構成員としての活用、司法書士会との連携を求めるなど活発な意見交換がなされた。

（東京司法書士政治連盟副幹事長　金子浩之）

立川市議会議員補欠選挙

平成27年８月２日㈰に告示され、９日㈰に投開票された立川市議会議員補欠選挙（定員１名）に、東京司法書士会立川支部の松本万紀会員が立候補し、当選した。「聴かせてください、皆さんの声」を謳い文句に、爽やかなグリーンのポロシャツ姿で連日猛暑日が続いた立川市内を走り回っていた。

松本まき候補は、民主党・維新の党の推薦を受け、同じ立川市を選挙区とする長島昭久民主党衆議院議員、酒井大史民主党東京都議会議員の支援を受け、細野豪志民主党政調会長、柿沢未途維新の党幹事長、松原仁民主党衆議院議員らも街頭演説の応援に駆けつけた。

結果、１万7712票を集め当選した。今後の活躍に期待したい。

（東京司法書士政治連盟副会長　立川健豊）

小倉將信衆議院議員を囲む国政報告・暑気払いの会

平成27年８月24日㈪、午後７時より町田市で、司法書士後援会による小倉將信自由民主党衆議院議員を囲む国政報告・暑気払いの会を開催した。小倉議員は、東京23区選出の衆議院議員で東京司法書士政治連盟（以下、「当政治連盟」という）の顧問である。この後援会は、同年３月21日㈯、東京司法書士会町田支部会員有志によって結成された。今回が初めての集まりである。

出席者は、小倉議員、小倉議員秘書の田中督人様、司法書士会側は、神藏忠男小倉將信司法書士後援会会長を始め町田支部会員15名と当政治連盟の大竹由美子会長､羽生明彦幹事長の２名が出席した。

小倉議員は、司法書士制度に大変ご理解があり、相談・要望にも気軽に応じていただける議員である。初めに、司法書士会側から小倉議員に感謝の意を伝えた。小倉議員も「空き家問題はじめ市民の方が直面する諸問題に対し司法書士の先生方のお力添えが必要だと考えています。大いに期待しています」と話された。会が進むにつれ出席者が打ち解けて、有意義な時間を過ごすことができた。

当政治連盟は、顧問議員と交流を図り、司法書士制度をご理解いただき、司法書士の職能を活用し社会貢献できるよう運動を続けていく。

（東京司法書士政治連盟副幹事長　市川英明）

連載

幹事長はこう動いた！

幹事長　羽　生　明　彦

第25回

平成27年７月24日㈮に開催された東京司法書士政治連盟（以下、「当政治連盟」という）第46回定時大会において、山本健詞前幹事長（現副会長）の後任として、平成14年10月２日㈬に開催された当政治連盟第33回定時大会で任期満了退任後、実に13年ぶりに幹事長に選任されました。

このように長い時の流れを経ての幹事長再任者は、当政治連盟では初めての出来事ではないかと思います。再任後まだ数カ月ですが、コアな部分よりも初体験の部分のほうがはるかに多く、事務能力に劣る私にとっては想像していた以上に戸惑っているのが現状です。

ともあれ、大野寿之前会長（現東京司法書士会副会長）、山本前幹事長のご苦労をねぎらうとともに、髙田恭秀元幹事長（現副会長）など、会長・幹事長経験者をはじめとする役員の皆様方のお力を借りながら、大竹由美子新会長を支え、二人三脚で当政治連盟のために尽力していく所存ですので、よろしくお願い申し上げます

それでは、７月24日㈮から本号原稿入稿直前の11月５日㈭までの幹事長としての活動の概略の報告をいたします。

○平成27年７月24日㈮

定時大会において幹事長に選任され、即就任承諾をした。

○７月29日㈬

東京司法書士協同組合の理事会に、大竹会長と共に新役員就任のご挨拶にうかがった。

○７月31日㈮

東京司法書士会理事会に、大竹会長と共に新役員就任のご挨拶にうかがった。

○８月４日㈫

立川市議会議員補欠選挙候補者松本万紀会員の選挙事務所に推薦状を届けるとともに、ご母堂およびスタッフの方々にご挨拶、激励をした。その後、何回か選挙事務所を訪問し、結果、見事初当選した。

○８月18日㈫

公益社団法人東京公共嘱託登記司法書士協会（以下、「東京公嘱協会」という）の理事会に、大竹会長と共に新役員就任のご挨拶にうかがった。

○８月19日㈬

午前11時から午後４時過ぎまで昼休みを挟み約４時間、当政治連盟の顧問および司法書士制度推進議員連盟の衆参両院の国会議員の先生方24名の国会事務所（議員会館議員事務室）に、大竹会長と共に新役員就任のご挨拶にうかがった。中川雅治自民党参議院議員、長島昭久民主党衆議院議員など、ほんのわずかだがご本人とお会いすることができた。山口那津男公明党代表・参議院議員には、大竹会長が最重要課題としている空き家対策問題につき「行政から動かしていかなければならない問題なので、市区町村議員、首長の協力が大変重要である。国民にとって重大な問題であるため、山口代表の名を地方議会で出してもらっても全くかまわない」との心強い激励をしていただいた。松原仁民主党衆議院議員にも激励のお言葉をいただいた。夏の暑い中、こういったありがたい激励は何よりも疲れが癒される。

○８月24日㈪

小倉將信自民党衆議院議員の後援会（町田市）に、大竹会長と参加した（詳細は、当政治連盟ホームページを参照されたい）。

○８月26日㈬

京王プラザホテル（新宿）にて開催された東京公友会（東京の公明党の会）に、大竹会長と出席した。あまりに参加者が多く、顔を合わせることができなかった。舛添要一東京都知事、山口代表、竹谷とし子参議院議員も参加されていた。気になったのは、乾杯の音頭をとった来賓が東京都行政書士政治連盟副会長だったことである。行政不服審査権に関して話をされていたが、ここでも

司法書士が行政書士に一歩先を行かれてしまった。

○８月27日㈭

公益社団法人成年後見センター・リーガルサポート東京支部（以下、「LS東京支部」という）の幹事会に、大竹会長と新役員就任のご挨拶にうかがった。私はLS東京支部三多摩西ブロック担当幹事という、一応末端の役員も兼ねているので、何となく違和感を感じざるを得なかった。大竹会長が退室された後、再度会議に加わった。

○９月８日㈫

昼休み時に、ANAインターコンチネンタルホテル東京にて行われた司法書士制度推進議員連盟総会のため、当政治連盟も、日本司法書士政治連盟（以下、「日司政連」という）の手伝いとして参加した。総会の内容は、受付や関係者の誘導等の仕事のため、全く把握できていないので、詳細は、当政治連盟ホームページを参照されたい。

午後から場所を移動し、東京都議会共産党および公明党に、平成28年度の予算要望を当政治連盟を中心に、東京公嘱協会、LS東京支部、東京青年司法書士協議会と共に行った。私の前幹事長時は当政治連盟の要望だけでよかったのだが、現在は関連団体すべての要望を、当政治連盟が代表して取りまとめ、内容の詳細については各団体の担当者が行うというスタイルで行っているため、直前の約２週間は調整、要望案の検討等でほとんど熟睡できなかった。

○９月９日㈬

昨日（９月８日㈫）に引き続き、東京都議会民主党に予算要望をした。昨日の経験を踏まえ、少しは落ち着いて進行することができた。

○９月10日㈭

日司連ホールにて総務会を開催した。いつものことながら、総務の出席が少ないのは、私の責任であると反省した。

○９月24日㈭

政連室において、菊池千春東京土地家屋調査士政治連盟会長および山本憲一幹事長と会談をした。東京土地家屋調査士会は、当政治連盟ほど会費徴収には困っていないこと、顧問は地方議員が中心であること等の話をうかがった。今後、空き家対策等で協力していこうとの合意をした。

○10月１日㈯

パレスホテル立川にて、長島議員の立川後援会立ち上げ式に参加した。武田正信東京司法書士会立川支部長など５名が参加した。町田市の小倉議員と同じ趣旨の後援会を発足しようとの会である。

○10月５日㈪

自民党本部にて、東京都議会予算要望が行われた。正味10分で４団体が要望しなければならないので、事前の打合せに労力が必要であった。大竹会長のおかげで、丸川珠代自民党参議院議員、中川議員、小倉議員など当政治連盟にゆかりが深い先生方にご出席いただき、また、ある議員の先生から東京公嘱協会に対し、狭隘道路のご質問があり、充実した要望になったのではないかと思われる。

○10月14日㈮

広報委員会に、大竹会長と出席した。本誌（「青い空」）の発行について議論が集中した。

○10月15日㈯

東京司法書士会の入会式で説明をした。その前に、三多摩支会の説明をして間髪を容れず、「では、引き続き政治連盟についてお話しします」としたものであったから、新入会者はさぞびっくりしたのではないかと思う。政治連盟の成り立ちと会費納入のお願いはしたものの、「鉄は熱いうちに打て」ではないが、ベストな会費納入策には今一つ不足していたような気がする。

○10月29日㈯

財務委員会に出席した。髙田副会長から詳細な財政状況をうかがった。なお、日司政連への会費は第４期分を支払済みの旨、報告した。

○11月１日㈰

リーガロイヤルホテル東京にて開催された「中村邦夫先生を偲ぶ会」に大竹会長と共に出席した。十数年ぶりに、加瀬皓三前千葉司法書士政治連盟会長と話ができ、とても懐かしく感じた。数

日後、三河尻和夫日本司法書士会連合会会長から「中村先生の奥様が大変喜んでおられた」とのメールをいただいた。司会の方が二度も「みかわじり」会長と紹介されていたことが残念であった。

○11月５日㈭

広報委員会に出席した。普段の会議よりも時間を延長し、午後８時30分頃までかかったが、本誌の発行日が12月、原稿の入稿日も決定、あとはゲラを組むだけとなり、まずは万々歳といったところであろうか。

Voice

乗り越えるべき課題

東京司法書士政治連盟名誉会長　星　野　高　久

●はじめに　司法書士制度戦後70年間、私たちはおおむね法務局と国民との間で生業を立ててきました。しかし、現在、登記業務は、残念ながらほぼ私たちの手から離れてしまっています。会員の財政基盤の確立は業としてのインフラ基盤を確立するうえで最も重要なことです。国民から「登記は司法書士」のイメージを、そして絶対の信頼感を勝ち得ていたことを思うと制度を愛する者の一人として無念であり慚愧に堪えません。若い会員、そしてその次の世代のためにもよりよい制度の方向性を指し示して位置づけていかなければなりません。私は、決して「士業間の戦争」に負けた結果であるとは考えていません。私たちはプロとして質の高い法的サービスを提供しうる能力をもっています。制度として充実した研修研鑽システムは他に類をみません。しかし、社会に対して「もの言わぬ団体」に、国民は目を向けてくれるのでしょうか。社会貢献も制度広報も差し迫った必要性がないままに蔑ろにされてきたといえます。失地を取り戻すために乗り越えるべき課題は主に２点あります。

●法務局の窓口対応のあり方　まずは、法務局と国民の間はどうあるべきかです。窓口対応は、基本的には「個別具体的事案には国は立ち入らず」であるべきであり、たとえば、遺産分割協議書作成等に関して、助言、提案、指導、関与、代筆、あるいは民間同士の取引等の問題に、国がコンサルにまで及ぶことはあってはならないことであり、違法性も出てくるのではないか。登記に関する法律相談権限は、司法書士・弁護士のみであり、国にはないからです。税額表、税率表、記載様式類等の掲示、申請書用紙等の無料交付程度にとどめるべきです。私たちの制度としても優先順位の高い切迫した重要課題として取り組んでいくべき課題であると考えます。

●職業としての基本的理念、現状認識、情報の共有等　２点目は、私たちの側の問題です。私たち全会員は、司法書士制度のおかれた現状にしっかりと目を向けなければなりません。職業としての基本的理念、現状認識、情報の共有等が強く求められます。そのうえで司法書士の社会における人材活用、制度広報などで司法書士制度の存在感を高めていくべきです。

同時に、私たちには取り組むべき負の課題も山積しています。私たちは護送船団ではありません。優勝劣敗が適切に作動する組織であることを常に国民に示していくことが、長期戦略として国民の信頼を勝ち取っていくうえで大事な視点であると思います。国民の安心と信頼を勝ち取ることが不可欠だからです。

東京公共嘱託登記司法書士協会

豊富な知識と経験を修得

出前講座を行い社会に貢献

登記業務の新人向け研修会を開催

幅広い事業に挑戦

HPで金融機関の変遷を情報公開（更新中）

あなたの力を必要としています

公益社団法人 東京公共嘱託登記司法書士協会

〒160-0003 東京都新宿区本塩町9番地3 TEL 03-3359-3345 FAX 03-3359-3370

http://www.tokyo-koshoku.or.jp/

皆様のお仕事をお手伝いいたします。

金融・保険事業
司法書士総合補償制度
業務用印紙･現金･小切手等補償制度
事業資金貸付制度
小規模企業共済制度
中小企業退職金共済制度
各種保険の紹介、ローンの斡旋

労働保険事務組合事業
雇用保険・労災保険事務
事業主の特別加入
保険料の分割納付
労働保険研修会開催

教育情報事業
司法書士手帳の発刊
公式サイトによる情報提供
教育情報誌の編集・出版
組合公式サイトを活用した情報発信
講習会の開催

東京司法書士協同組合

福利厚生事業
福利厚生制度
（ホテル・レジャー施設等提携）
レクリエーションの企画
百貨店・特約店の提携
TDRとの提携・人間ドック補助

ネットワーク事業
インターネットによる
情報提供
先例検索・目的辞書
登記原因証明情報 書式撰 等

共同購買事業
業務用必需品
登記関連用紙
書籍・司法書士向ソフト
ギフト・オフィス用品
切手・印紙類

お手伝いします。
お気軽にお問い合せください。

労働保険事務組合
東京司法書士協同組合
〒160-0003 東京都新宿区本塩町9番地3 司法書士会館2階
Tel 03-3359-0967 Fax 03-3353-8366
http://www.tsknet.jp/

●編集後記●

■今期、広報委員会は新たに生まれ変わりました……と言ったら大袈裟ですが、広報委員会はホームページ委員会と一緒になりまして、本誌「青い空」の発行と「東京政連ホームページ」の管理・運営をしていくことになりました。

人数としてはかなりの大所帯となっております。個々の仕事の都合もありまして、なかなかメンバーが揃わず、大変なこともありますが、我々政治連盟、殊に広報委員会は、広報という立場で司法書士の存在を内外にアピールしていきたいと思っております。今期もどうぞよろしくお願いいたします。 **（金子）**

■『徒然草』に北条時頼の母・松下禅尼の逸話があり、禅尼が自ら障子の破れをあちこち小刀で切り張りしているので、兄の城介義景から「上手な男にやらせたらどうか。全部、障子を張り替えたほうが簡単だし、まだらになるのも見苦しいでしょう」と言われると、禅尼は「いつかは張り替えようと思っていますが、今日だけはわざとこうしておくべきです。物は破れた所を修理して用いるべきことを時頼に見習わせて注意を促すのです」と言って、倹約が大事なことを説いたそうです。

法律の改正も障子の張り替えに似たところがあり、世の中が複雑になり価値観が多様化し、時代に合わなくなって改正せざるを得なくなる。その際にはできるだけ、禅尼のように上手に張り替えてもらいたいものです。倹約も肝要ですね。予算が付くことが多いので。 **（山﨑）**

■以前にも本誌に書いたことがあるが、私は事務所に行くときも帰りのときも自宅から徒歩である。およそ35分の道程である。主目的はやはり健康志向である。別に健康に問題があるわけではないが成人病等の予防も考えている。その徒歩通勤道であるが、行くときの道と帰りのときの道が大体いつも決まっている。ただ帰りのときは時折少し遠回りをして未知の住宅街をわざと通るようにしている。夜道ではあるが、平凡な住宅街の中で小さな公園などを発見すると何だかとてもうれしく感じる。

ところで、ある日、帰りのとき通る道を何気ない気分で朝行くときに通ってみた。普段帰る頃は暗くぼんやりとしか見えないさまざまな果物（柿・夏ミカン・その他いろいろ）が朝日に照らされて輝いていた。きれいで何とも爽やかな風景であった。公園を見つけたときとはまた違う意味での発見であった。果樹園の中を通っているような気分になる道でもあった。そんなすばらしい道とも知らずに毎日通っていたのかと思うと何だかとてもそれらの風景に申し訳ないような気分になった。これからも新しい発見を求めて行き帰りの道中を楽しみにしている。 **（菅澤）**

■今大会で大竹由美子新会長が誕生した。来賓挨拶では、国会議員からの大竹新会長への祝電も紹介された。議案の審議で若木康夫参与から東京司法書士政治連盟規約（以下、「規約」という）第２章（会員）について、会費納入と関連づけた質問が出た。５条（会員）本連盟の会員、６条（会員名簿）会員名簿の作成、８条（退会）退会届など規約に網羅されていることの実際の運用についてである。また、安井利国名誉会長からは、入会式での関連団体説明の際に東京司法書士会の協力を得られることを条件に政治連盟の活動に賛同する新入会員から入会届をもらってはどうかという提案があった。

大会の取材を通じて参加した会員の多くがメモをとり質問者の発言・執行部の回答に真剣に耳を傾けていた様子が伝わってきた。

今回、議案の審議で規約の会員の章に関するところに質問が集中した。来年の大会は、質問された事項を改善し万全の体制で臨みたい。 **（立川）**

東京司法書士政治連盟広報委員会

委員長　金子浩之
副委員長　山﨑敏夫
委員　渡邉一男
委員　増田弘子
委員　杉山昭子
委員　大瀧賢将
委員　佐藤祐一
委員　小関研太郎
委員　荒早苗
委員　阿部文香
広報担当
副会長　菅澤明
副会長　立川健豊
副会長　粕谷浩
オブザーバー
星野高久